

知床の窓から見えるもの

2023年1月4日（水曜日）

あけましておめでとうございます
本年も宜しくお願いいたします



昨年もまた新型コロナウイルス感染症が拡大し、対応に追われた1年でした。

特に発熱外来、PCR検査、ワクチン接種などの業務に診療所一丸となって取り組みました。

これまで院内クラスターの発生もなく羅臼町の新型コロナウイルス対応に貢献ができたこと、地域医療を維持することができたのは、全職員が奮闘したことで無事1年を乗り切ることができたと感じております。もちろん、これもひとえに町民の皆様のおかげと支援と関係機関のご協力があったからこそであり、深く感謝申し上げます。

今回の記事を担当させていただくのは、羅臼町在住1年未満の新参者の事務員です。

北海道に50年近く住んでいる道産子ですが、この町に住んでみて新鮮なことが多々ありました。

まずは、車で国道を走っていると「ヒグマ」に遭遇。はじめての経験で色々な意味ですごく興奮しました。

次に、最近見た「漁火」。羅臼の海に緑色や白色の光が宝石のように無数に煌めいている様子は、神々しささえ感じました。一生ものの風景だと思います。

そして、何といっても魚介の美味しさ。ウニ、ホッケ、メンメなどなど、挙げればキリがないですが、どれもお味は一言で表すと「最高」です。

羅臼町に興味がある方はぜひ一度足を運んでみてください。

さて、社会医療法人孝仁会知床らうす国民健康保険診療所は、公設民営で令和4年7月に11年目を迎えました。今後も患者様が安心してかかれる、思いやりと笑顔あふれる診療所を目指していきますので、本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。